



市長 からの 手紙

91 川越地区消防組合

先月発生した台風第19号により被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。併せて、多くの皆様からご支援をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

今回の台風の際もそうですが、災害発生時などに消防が救援活動を行っています。川越市における消防組織の正式な名称は、「川越地区消防組合」です。多くの方にとって「組合」という名称から連想するのは労働組合や協同組合かも知れませんが、川越地区消防組合は、昭和48年4月1日に川越市と川島町により設立された、一部事務組合と呼ばれる地方公共団体(特別地方公共団体)です。ちなみに、県や市町村は普通地方公共団体です。

川越地区消防組合は、川越市と川島町の消防事務を共同で行うことを目的として設立された組合です。消防組合は地方公共団体ですから、議会が設置されています。議員定数は13人、

任期は2年で、川越市議会議員から10人、川島町議会議員から3人が、それぞれの議会における選挙により選出されます。執行機関側には、監査委員、公平委員会のほか、管理者などが置かれています。消防組合の管理者・副管理者は、川越市、川島町の長の協議で決めることになっていて、管理者は川越市長、副管理者は川島町長と川越市副市長1名が就任しています。

消防組合の経費は、川越市と川島町が9:1の割合で負担し、平成30年度の決算では、組合の収入は52億3,600万円(100万円未満切り捨て、以下同じ)、支出は51億7,100万円です。

川越地区消防組合の本部庁舎は神明町にありますが、庁舎の狭あい化、老朽化が著しいため、現在、新庁舎建設に向けて準備を進めています。

なお、救急業務に関して、平成21年に出場件数13,490件、搬送人員12,037人であったのが、平成29年には出場件数17,612件、搬送人員15,303人(搬送人員が出場件数より少ないのは、不搬送件数があるため)という状況で、8年間で出場件数が4,122件の増、搬送人員が3,266人の増となっています。高齢化が進む中、今後も増加していくと考えられ、適切な対応が課題となっています。

川越市長 川合善明

こんなこともやっています！
図書館の仕事 その2

中央図書館 Tel 222-0559

Fax 224-7822

ブックスタートを行っています

ブックスタートとは、「絵本」と「赤ちゃん」を楽しく体験」を贈る事業です。赤ちゃんと保護者が、絵本を見ながら、ゆつくり心ふれあうひとときを持つきっかけづくりを目的に行われています。



現在の絵本は『くっついた』

市では平成15年からブックスタートを始め、4か月児健診の会場で、絵本と1歳までの赤ちゃん向けのおすすめ絵本リストを渡しています。また、赤ちゃんに絵本でコミュニケーションを取る楽しさを体験してもらうため、図書館の職員などが絵本の読み聞かせを演じています。赤ちゃんの反応は、じっと絵本を見たり、絵本に手を伸ばしたり、隣の子と見詰め合ったり、健診で疲れたのか眠っていたりとさまざまです。

市立図書館では、「家族みんなで、絵本を通じて赤ちゃんとのふれあいの時間を持ってもらえれば」と思っています。ブックスタートを行っています。お渡しした絵本は、ぜひご家庭で楽しんでください。身近な方に絵本を読んでもらった経験が、赤ちゃんの人生において宝物になることを願っています。